

東 部 地 域 局 通 信

第30号

2025. 7. 25

発行 静岡県東部地域局地域課



こんにちは！ 静岡県東部地域局です。

東部地域局通信は、静岡県東部の14市町の様々な情報を局員それぞれが独自の視点で取材編集しています。世界文化遺産である富士山や、ユネスコ世界ジオパークの伊豆半島、世界農業遺産の「わさび」など、世界に誇る地域資源に恵まれている東部地域の魅力をお届けします。

局員一人一人の個性あふれる記事にも御注目ください。お楽しみに！

夏だ！

海だ！

伊豆半島で海水浴を楽しもう！

海水浴シーズンがやってきましたね！

静岡県には52か所の海水浴場がありますが、そのうち約8割に当たる43か所が伊豆半島地域にあります。4月から5月に行われた水質調査では、すべての海水浴場で「適」または「可」と判定され、そのうち、特に良好な水質であるAAの判定は34か所でした。



白浜大浜海水浴場（下田市）



熱海サンビーチ（熱海市）

伊豆半島には透明度が高く良質な海水浴場がたくさんあります。きれいな白い砂のビーチや、ダイビングとシュノーケリングも楽しめる場所など多彩な海水浴場があり、楽しみ方も様々です！今年の夏は、伊豆半島のきれいな海で心も体もリフレッシュしませんか？

写真提供：静岡県観光協会

（担当：駒谷）

◆ 7月・8月は「水難事故防止強化月間」です ◆

毎年多くの水難事故が発生しており、静岡県内で昨年7月と8月に発生した水難事故件数は18件、死亡者・行方不明者は8名となっています。平成30年8月には、大学生3名が一度に亡くなる痛ましい事故が発生しており、このような事故を二度と起こさないために、当局では県内大学生等に対する啓発を行ってきました。

今年度は、7月7日に日本大学国際関係学部（三島市）において、学生に対する水難事故防止に係る注意喚起を実施しました。また、7月30日には土肥海水浴場（伊豆市）において、海水浴客を対象とした遊泳中の事故防止を呼びかけるビーチパトロールを実施する予定です。



ルールを守り、安全に夏を楽しみましょう！

（担当：鈴木要）

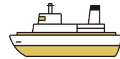
ライフジャケットさえ着ていれば
助かった命があります



大学での啓発の様子



「するいち115km FREE RIDE」が開催されました！



7月12日、「するいち(駿河湾一周)115km FREE RIDE(主催:スルガ銀行)」が開催され、県内外から参加した19名のサイクリストが、サイクリングと駿河湾フェリーで駿河湾ぐるっと1周の旅を楽しみました。

沼津市を出発し、清水港に向けて海岸線を約50km。清水港からは駿河湾フェリーに乗船し土肥港まで船の旅を満喫します。この日はあいにくの曇り空で富士山は隠れていましたが、天気が良ければ船上から富士山を望むことができます。下船後に待ち受けるのは伊豆の山々！坂を上った先の景色を堪能しながら、沼津市まで駆け抜け無事ゴールしました！



参加者に聞きました！



サイクリストにアンケートを実施しました！

Q1. するいちの魅力は？

- ・駿河湾フェリーに乗れること
- ・駿河湾の海岸線を走れること
- ・海岸線の平坦なコースと伊豆の登坂コース、異なる種類のコースを一度に走れること



Q2. おすすめスポットは？

- ・駿河湾の海岸線
- ・田子の浦みなと公園タワーからの眺望
- ・西伊豆の山々から望む駿河湾
- ・フェリーから眺める富士山
- ・薩埵(さった)峠



Q3. おすすめグルメは？

- ・清水港河岸の市の海鮮丼
- ・清水港河岸の市の朝ラーメン
- ・田子の浦港のしらす丼
- ・土肥港の海鮮
- ・沼津港の海鮮
- ・大瀬崎(おせざき)のみかん

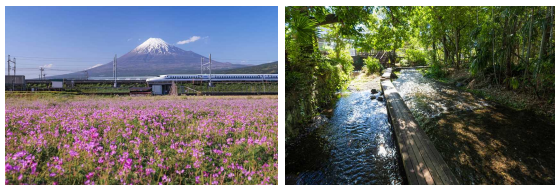


(担当:増田)

オンライン移住相談会「東部地域DAY」を開催中！

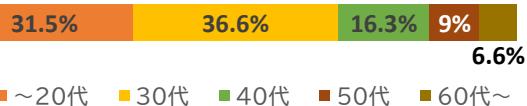
令和6年度の県内の移住者数(※)と移住相談件数はともに過去最多となりました。コロナ禍以降、県内への移住者数は増加傾向が続き、5年連続で過去最多を更新しています。移住者のうち8割以上は20代~40代までとなっており、若い世代を中心に地方部への移住の関心が近年高まっていることが見てとれます。

(※)県の支援制度などを利用して県外から移住してきた人



7月13日開催の東部地域DAYの様子

● 移住者(世帯主)の年代別割合



● 移住者が多かった市町(R6)

沼津市	386人
富士市	228人
三島市	138人
富士宮市	134人



当局では、県東部地域への移住促進のため、移住相談会「東部地域DAY」を実施しています。今年度はオンラインでの開催で、県の移住相談センターの相談員と、市町の担当者が相談者に東部地域の魅力を伝えていきます。

今後も市町と連携しながら東部地域の魅力をPRしていきます！

CHECK!

今後の開催予定

- 8月24日(日) 富士市、小山町
- 9月7日(日) 富士宮市、東部地域局

県外にお住まいの方にぜひご案内ください！

詳細はこちら↓



(担当:下田)

空から守る静岡の命

静岡県消防防災航空隊の活動紹介

静岡県消防防災航空隊は、平成9年に発足し、県内消防本部から派遣されている消防職員9名、操縦士6名、整備士4名等により365日体制で活動をしています。

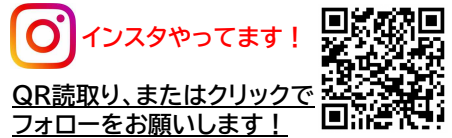
消防防災航空隊が使用するヘリコプターは、令和元年度に新しく導入されたイタリアのレオナルド社製の機体で、巡航速度278Km、最大航続距離730Kmの能力を持っており、愛称は先代から引継いだ「オレンジアロー」です。

装備として、救難者を引き上げるホイスト装置や消火タンクのほか、レスキュー資機材、救急資機材、山岳救助、海難救助の装備を事案ごとに積載して救助活動を行います。



令和6年は、山岳救助18回、水難救助18回、患者搬送2回、孤立者救助2回のほか、能登半島地震の応援のため延べ17日間石川県で航空運用支援を実施しました。山岳救助のうち5件は富士山での活動で、左の写真は富士山9合目で転倒した女性をホイスト救助している所です。

昨年9月に発生した大雨により、川根本町の夢の吊橋や静岡市の南アルプス榎島ロッジの孤立者の救出搬送や長野県上田市、山梨県大月市の林野火災など、空飛ぶ消防として、日々、多岐にわたる活動を行っています。(担当:太田)



∥ "わが家の防災"備えは万全? ∥

「親子で考える防災講座」を初開催



加藤学園暁秀中・高等学校の富士・富士宮富士川以西地区(富士市、富士宮市)のPTA総会の場をお借りして、生徒と保護者およそ50名を対象に、「親子で考える防災講座」を開催しました。

「登下校中、電車に乗っている時に地震が発生したらどうするか」、「巨大地震の後、つながりやすい通信手段は何か」(右図)など、クイズや映像を使いながら、楽しみながら防災について学んでもらいました。東洋大学の中村教授らの調査によって、熊本地震で一番被害の大きかった益城町では、固定電話や公衆電話よりも断然、携帯・スマートフォンの方がつながりやすかったことが分かりました。



◆「静岡県総合防災アプリ」◆

クイズ

2016年熊本地震で1番被害の大きかった益城町で、地震の後、1番つながりやすかった連絡方法はどれでしょう。

- 固定電話
- 公衆電話
- 携帯・スマホの通話
- LINE、InstagramなどのSNS
- パソコンのメール

中村功(東洋大学)「熊本地震にみる災害通信の進展と課題」より

静岡県が作成した南海トラフ地震の被害想定でも、発災直後は携帯電話の方が固定電話等よりつながりやすいとしています。特にLINEなどのデータ通信は、アクセスが集中したときもつながりやすいという特徴があります。

また、スマホのアプリを使って、外出先でハザードマップを確認するのも効果的です。左の図のように、津波避難タワーの場所も確認することができます。子どもが一人でも、自ら考えて身を守る行動を取れるように、日頃からアプリ等を活用して災害が起きたときをイメージしておくようにしましょう。(担当:植田)

「火山防災の日」企画展

～火山への理解を深めましょう～



◆ 令和6年の火山企画展の様子 ◆

静岡県には、富士山と伊豆東部火山群という2つの活火山があります。火山は、噴火すれば大きな被害をもたらす一方で、温泉や美しい景観など、多くの恵みも私たちにもたらしてくれます。当局では8月26日の「火山防災の日」に合わせて企画展を実施します。火山防災だけでなく、火山に関するクイズや実物の溶岩などの展示から、火山の成り立ちについても学べる内容となっています。夏休みの自由研究にもおすすめです。ぜひご覧ください。

(担当:植田)

◆ 期間…8月14日(木)～8月27日(水)

◆ 会場…静岡県東部総合庁舎 本館2階
エレベーター付近会議室 (沼津市高島本町1-3)



自衛隊宿泊研修に参加しました！

大規模災害時の救助活動で活躍する自衛隊への理解促進と連携強化を目的とした「自衛隊宿泊研修」が開催されました。今後の業務の参考に、当局職員が陸上自衛隊板妻駐屯地で1泊2日の宿泊研修に参加しました！

Day 1

1日目は、自衛隊の基礎的な内容が中心でした。「気をつけ」、「敬礼」などの動作から、災害派遣の事例についての解説、装備品の展示など、自衛隊を知る上で必要不可欠な内容でした。特に約20kgの荷物を担ぎ、崩落箇所を隊列を組んで登っていく能登地震救助派遣の映像からは過酷さが伝わってきました。



屋外炊事車展示

<訓練内容>

- 1日目
 - ・基本動作
 - ・災害派遣の講話
 - ・装備品展示
 - ・搬送法レクチャー
- 2日目
 - ・行進訓練
 - ・救急搬送



700mを搬送！

Day 2

2日目は実践です。7kmほど歩いた後に障害物を越え、最後は自衛官を担架で搬送して訓練終了でした。自衛官を担架で搬送した距離は700mで大変ハードでしたが、チームで声を掛け合い乗り越えました。

私たちの仕事の先にどのような現場があるのかを考える貴重な機会になりました！



(担当:白井)



静岡県東部地域局

〒410-0055 静岡県沼津市高島本町1-3
055-920-2139
toubu-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp
https://www.pref.shizuoka.jp/

X



Instagram



note



◀ 東部地域局公式SNSでも
様々な情報を発信しています！
QR読み取り、またはクリックでフォローをお願いします！

東部地域局は、富士山麓地域から伊豆半島地域にわたる県東部地域の14市町を担当エリアとしており、自然災害などの危機事案への対応、地域振興や伊豆半島地域の観光振興などを担っております。

沼津市・熱海市・三島市・富士宮市・伊東市・
富士市・御殿場市・裾野市・伊豆市・伊豆の国市・
函南町・清水町・長泉町・小山町

